



蝶蝶とかざぐるま 藤本聖子 作

徳山大学広報

# 学園台の風

第45号

平成19年12月1日 発行

<学生生活のいま>

ビジネス戦略学科知財開発コース1年

藤本 聖子 さん

子供の頃から絵を描くことが好きで、絵についてもっと学びたいと思い、この大学に入りました。絵を学ぶことを通していろいろなことにチャレンジしながら、4年間で自分の方向性を見出していきたいと思っています。今年は、いろいろな意味でとても充実した時間を過ごすことができ、とても幸せな1年となりました。



発行 徳山大学総務部

編集責任者 蔵田英孝

山口県周南市学園台

TEL 0834-28-0411 (代)

# 大学祭レポート



紅葉の中でお茶を一服



至誠寮による勇壮な太鼓演奏



知財作品に「これどう・・・?」



知財の原田先生となかはら先生



模擬店は今年も国際色豊かでした



外国人による日本語弁論大会会場



大学より見える夕日



11月10日11日の2日間にわたり、晴天の中、第37回ポプラ祭が開催されました。

1日目会場では学生やヘルシーカレッジとくやま受講生の展示、また恒例となっている「外国人による日本語弁論大会」や工夫を凝らしたステージ企画や模擬店、また地域の方によるフリーマーケットなど、多種多様な催しに、それぞれ楽しんでいました。2日目は芸能人によるステージショーやビンゴ大会なども行われ、若者の熱を爆発させていました。大学祭終了後、この1年間準備に取り組んできた大学祭実行委員会の達成感に満ちた姿が印象的でした。



## 男女共同参画とは

会場はほのぼのとした空気に包まれました。

身振り手振りを交えてユーモアを交え巧みに答え、

「家庭での決まり文句について」「女性の喋り方・男性の喋り方について」「男性の喋り方・女性の喋り方について」「伝説文化の中の男性・女性について」「日本の若者の恋愛について」「男女観・家庭観について」

学生5名とのトークを展開、学生から「日本の若者の恋愛について」「男女観・家庭観について」「伝説文化の中の男性・女性について」「男性の喋り方・女性の喋り方について」「家庭での決まり文句について」などの、難問・奇問に対して、ダニエルさんは

## 男女共同参画フォーラム 開催される

10月28日徳山大学を会場に男女共同参画フォーラム（主催山口県 共催周南市・徳山大学）が開催され、県内各地から来られた600名の参加者で賑わいました。このフォーラムは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会――男女共同参画社会の実現の促進を目的として毎年一度開催されています。午前中は4会場に分かれて分科会が開かれ、各会場で活発な意見交換が行われました。また、男女参画にちなんだ展示活動発表も数多く出され、参加者の関心をひいていました。

午後からは、講演会が記念館で行われ、タレントのダニエルカーンさんが「パートナーと歩む、こどもと歩む、オラのやりかた」と題し、流暢な山形弁で、初めて日本語教師として山形に赴任したときの感想や、そこから学んだことなどを、家族との関係を交え、講演されました。講演会の後半では、本学学生5名とのトークを展開、学生から「日本の若者の恋愛について」「男女観・家庭観について」「伝説文化の中の男性・女性について」「男性の喋り方・女性の喋り方について」「家庭での決まり文句について」などの、難問・奇問に対して、ダニエルさんは



ダイニエルさんに質問する左から 計田和輝君（経済3年）梅津諒君（経済2年）林佳奈芽さん（福祉4年）山田朋典君（福祉3年）土井千明さん（福祉4年）

本学教職員学生と、地域の方が、手を取り合い協力して運営したフォーラムでもあり、大変有意義な一日でした。

## あの頃、城ヶ丘寮のさきんかの花

かつて大学から歩いて5分の場所に城ヶ丘寮という学生寮がありました。4畳半の個室、風呂とトイレ共同で賄い付きといった内容でした。写真は平成7年頃の様子です。寮生活は、夏場エアコンもなく十分な環境とは決して言えませんが、逆に足音を聞いただけで、誰が帰ってきたかわかるといった、人間同士のふれあいにあふれていました。スポーツ大会や寮祭など盛んに行われていましたが、もしかすると、そんなことが設備環境を上回っていたかもしれませぬ。できた当時は個室という点で画期的な寮でしたが、平成に入り徐々に、ワンルームアパートが台頭し、共同風呂・トイレなどのアパートは次第に姿を消していき、この寮も平成8年閉寮となりました。寮の玄関脇にあったさきんかの木は、今も学内に記念樹として移植され、冬には赤い花が、あの頃を思い出すかのように咲いています。





**福祉情報学科  
介護専攻コース**  
平成20年春  
開講(計画中)  
最新の設備で現代の  
介護について学びます。

入場無料です。  
多数の方のご来場をお待ちしています。

◎お問い合わせ先 福祉情報学会事務局  
電話 0834(28)0415  
手話通訳・要約筆記も行います。

### 講演会のご案内

## 「痛みながら生きていく時代を生き抜くために」

ケアを受ける側がやわらかく依存する生き方と  
病氣はするけれど病人にはならない生き方とは  
日時 12月9日(日) 10時~12時  
場所 徳山大学3号館 三〇一教室  
講師 吉武 輝子 (評論家・作家)

兵庫県出身、慶応義塾大卒業後、東映に入社。日  
本初の女性宣伝プロデューサーとなる。退社後文  
筆活動に入り、68年婦人公論読者賞を受賞。現  
在「古屋信子記念館」運営副委員長。女性問題を  
中心に評論・文筆活動を続けている。



11月某日、学生が清掃活動を行って  
いました。「どうしたの」と聞いて  
みると、サッカー部所属の学生で、「自  
主的に学内をきれいにしたいと思い  
やりました」と答えてくれました。そ  
の後も何度かこのような活動が見ら  
れました。彼らと会ってほのぼのとし  
た気持ちになりました。



11月17日周南市総合スポーツセン  
ターにおいて、全国高等専門学校デザ  
インコンペティション 2007in 周南が  
開催されました。これは全国の建築を  
学ぶ高専学生のための大会です。フィ  
ナーレでは徳山高専、大徳山太鼓回天  
保存会、徳山大学の学生が合同での太  
鼓演奏が行われました。



10月23日周南市立熊毛中学校にお  
いて、本学留学生と熊毛中学3年生と  
の「交流学習会」が行われました。こ  
の学習会は料理を通して異文化の交  
流を図るという内容で、本学の中国、  
韓国、台湾、インド、モンゴルの学生  
5名が参加しました。中学生にも大変  
好評で終始なごやかに行われました。



経済学部経済学科2年

清水良雄さん(66歳)

時間があれば、パソコン教室へ通っています。  
学生と将棋クラブの活動もしています。  
生涯学習として充実した時間を送っています。

**徳山大学シニア世代学生募集**  
徳山大学では、来年春入学に向け  
て、シニア世代を支援する新しい受入  
れ制度をスタートさせます。出願資格  
は満50歳以上で、高等学校卒業もしく  
は大学入学資格検定に合格した方で  
す。選考は、書類審査と面談により決  
定いたします。特別支援制度として、  
授業料を半額といたします。生涯学習  
の時代に新たな学び直しの機会とし  
て、また再チャレンジの場として、意  
欲をお持ちの方をお待ちしています。

◎お問い合わせ先 徳山大学入試室  
電話 0834(28)5302